

看護のプロフェッショナルリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第17回 ワークショップの開催報告

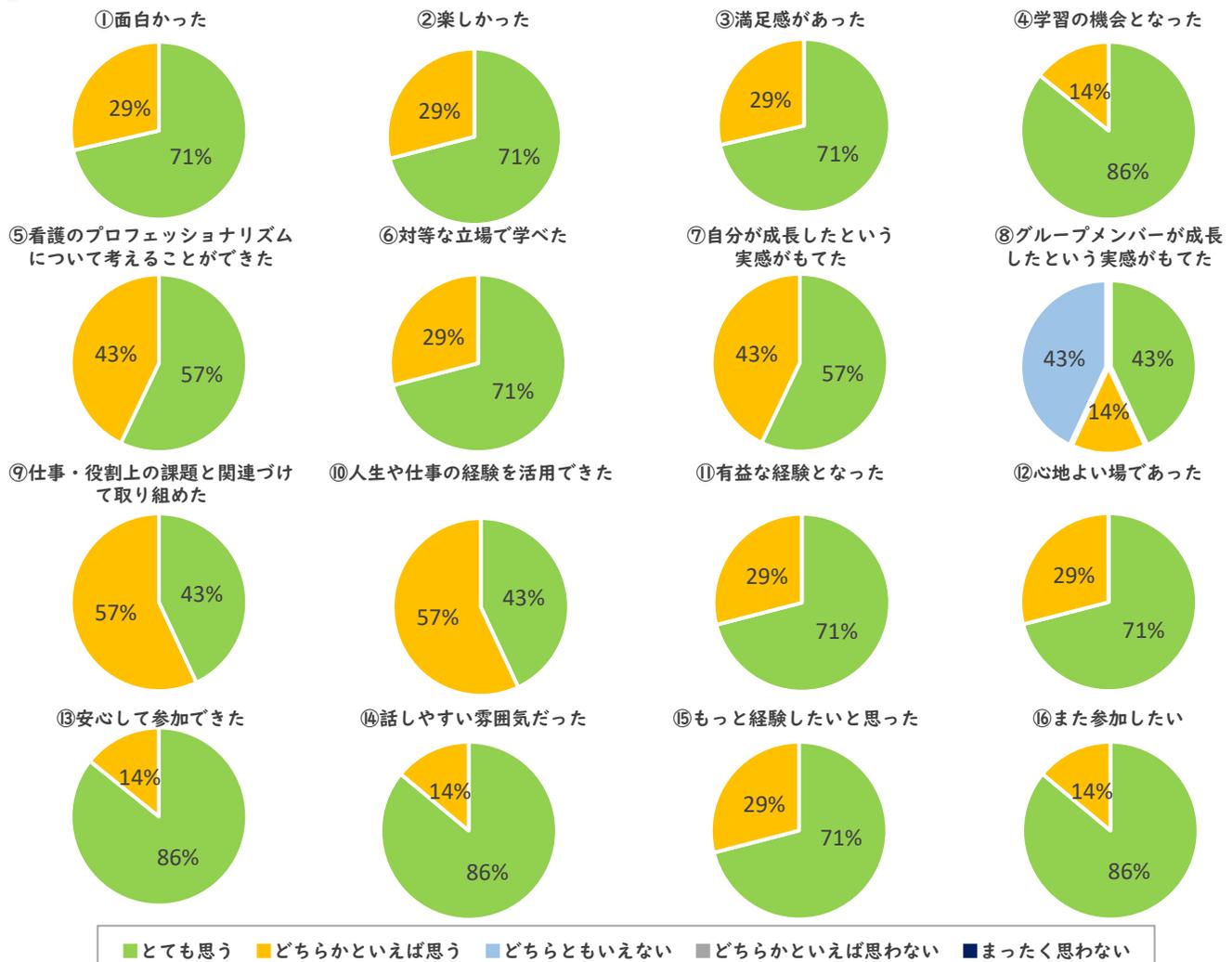
第17回も、みなとみらいサテライトキャンパス（対面）とオンラインのハイブリッド開催でした。前回は引き続き「人が育つこと・自分が育つこと」というテーマで、今回はプロフェッショナル・アイデンティティ・フォーメーション（PIF）にフォーカスをあてました。少し難しい内容でしたが、アンケートでは7割の方が「満足感があった」「有益な経験となった」と、8割以上の方が「学習の機会となった」と回答してくれました。

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2023年11月27日（月）15:00-17:00

参加者：14名（看護職、看護大学生、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答7名



自由記載で頂いた感想やご意見

- 参加する度に自分なりの学びが得られて、とても貴重な経験をさせて頂いています。今回は、自分が既に実践できているプロフェッショナルリズム＝自分がプロフェッショナルになるために育つことに関する気づきが多くありました
- プロフェッショナルリズムを理論的に考えることはまだ難しく思いますが、看護師としてのキャリアを考えるときに付属する看護観や看護師像の根底にはプロフェッショナルリズムがあると感じました(利他的な奉仕など)
- PIFについて自分の経験を振り返ることしかできませんでした。改めて考えると、組織における様々な場面で、個人としての価値と看護師(職業人)としての価値があることを受け入れ・説明できることが大事なのではないかと思いました
- 最初は難しいテーマと思って取り組んだが、メンバーからの発話から、いろいろとつながってくる体験、自分自身の最近の出来事などを話ができ、またそのことによって、仲間同士でのつながりが深まった体験となりました
- PIFは、現場の看護師、教育者などがそれぞれ違った立場で異なる経験を関連づけることができるテーマだと思いました。学生さんの感受性に毎回とても大きな刺激をもらっています。定期的にこのような自分を外から眺めるような機会があると、謙虚に学ぶ姿勢が思い出されて良いと感じました